

令和 5 年 7 月 3 日
愛 媛 大 学

愛媛大学が JST 次世代科学技術チャレンジプログラム 「高校型」に採択されました

～ 地域と世界の未来を創造するグローバルフロンティアリーダーの育成 ～

このたび、愛媛大学は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム「高校型」に採択されました。愛媛大学では、令和 4 年度に小中学生を対象とした JST の「ジュニアドクター育成塾」（Ⅱ期目）が採択されており、今回の「高校型」の採択により、小中高一貫の JST 事業の助成を受け、科学教育活動を実施することになります。愛媛大学全学組織である「次世代科学人材育成室」を中心に、地域の持続的発展を担う科学人材の育成に貢献してまいります。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

- 採 択 事 業 名 : 次世代科学技術チャレンジプログラム「高校型」
- 愛媛大学での
企 画 名 : 四国型次世代科学技術チャレンジプログラム
～地域と世界の未来を創造するグローバルフロンティアリーダーの育成～
- 支 援 期 間 : 令和 5 年度～令和 9 年度 ※今後、3,000 万円/年を上限に JST から支援予定
- 対 象 : 高等学校、高等専門学校 1～3 年生及び中等教育学校 4～6 年生

本件に関する問い合わせ先
愛媛大学 eGS 事務局 加藤 晶
電話：089-927-9606
Mail：egs@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料 4 枚（本紙を含む）

愛媛大学が JST 次世代科学技術チャレンジプログラム「高校型」に採択されました。

次世代科学技術チャレンジプログラムとは、科学技術イノベーションを牽引する次世代の傑出した人材を育成するため、初等中等教育段階（小学校高学年～高校生）において理数系に優れた意欲・能力を持つ児童生徒を対象に、その能力の更なる伸長を図る多様な育成プログラムの開発・実施を支援する国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の事業です。対象とする児童生徒の学年段階により小中型、高校型、小中高型の3つのタイプで構成されています。

愛媛大学は、このたび、次世代科学技術チャレンジプログラム「高校型」に採択されました。愛媛大学では令和4年度に小中学生を対象とした「ジュニアドクター育成塾」(Ⅱ期目)が採択されており、今回の高校型の採択を受けて、小中高一貫で JST 事業の助成を受け科学教育活動を実施することになります。愛媛大学全学組織である「次世代科学人材育成室」を中心に、地域の持続的発展を担う科学人材の育成に貢献してまいります。

採択事業名：次世代科学技術チャレンジプログラム「高校型」

愛媛大学での企画名：四国型次世代科学技術チャレンジプログラム

～地域と世界の未来を創造するグローバルフロンティアリーダーの育成～

支援期間：令和5年度～令和9年度

* 今後、3,000万円/年を上限に JST から支援予定。

対象：高等学校、高等専門学校1～3年生及び中等教育学校4～6年生

経緯と補足

- 1) 愛媛大学は、平成30年度グローバルサイエンスキャンパス事業に採択され、後継事業を含む計5年間、高校生を対象とした次世代科学技術人材育成に取り組んでまいりました。
- 2) 次世代科学技術チャレンジプログラムは、JST が、グローバルサイエンスキャンパス（主に高校生が対象、平成26年度開始）とジュニアドクター育成塾（小中学生が対象、平成29年度開始）を発展的に統合し、小中高高校生を対象とした長期的かつシームレスな育成プログラムを新たに設け、令和5年度より開始した事業です。本プログラムでは、探究活動、STEAM教育、アントレプレナーシップ教育、国際性の付与等の高度で実践的な取組を始めとした、実施機関や地域等の特徴を生かした多様で挑戦的な取組を求めています。これに加え、本事業の中で開発された人材育成手法について継続的な成果の把握、事業改善を通じて有効性の向上を図るとともに、広く普及させることで社会全体への効果の還元も目的としています。

参考リンク先

次世代科学技術チャレンジプログラム HP：<https://www.jst.go.jp/cpse/stella/>

採択機関一覧：https://www.jst.go.jp/cpse/stella/jigyou/jigyou_kikan.html

愛媛大学次世代科学人材育成室：<https://www.ngeneration.ehime-u.ac.jp/>

本事業のこれまでの取り組み

H30～R3年度: JST採択機関(GSC I期目)・卓越した意欲・能力を有する高校生対象

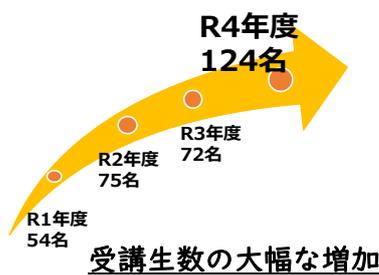
「科学力」と「国際力」を伸ばし国際的に活躍する次世代科学技術人材の育成

全学的な実施体制の構築

R4年度: 後継事業・すべての高校生を対象

「地域の問題に関心を持ち」地域や世界で活躍するグローバル科学技術人材の育成

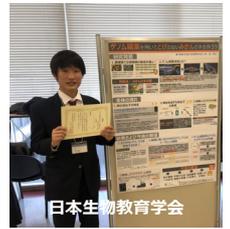
- 科目等履修生の取り組み、高大接続科目最大2単位習得可能、地方創生分野強化、課題研究延長期間の設定



国際誌などの論文出版



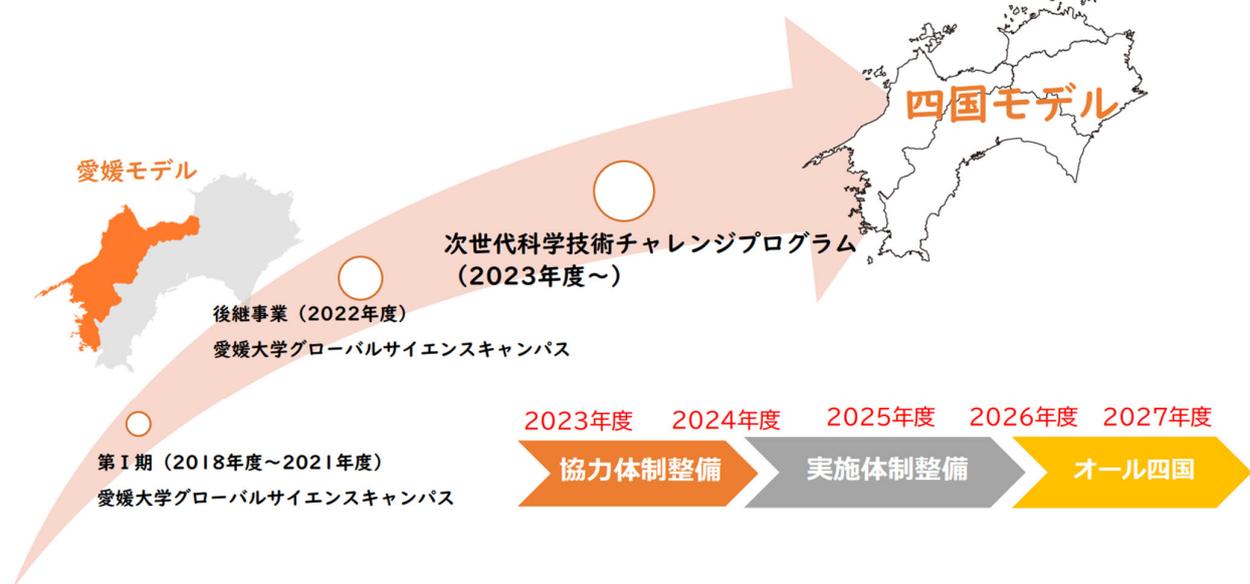
全国コンテストや学会発表の多数受賞



本企画の目標：四国独自の高大連携事業の立ち上げ

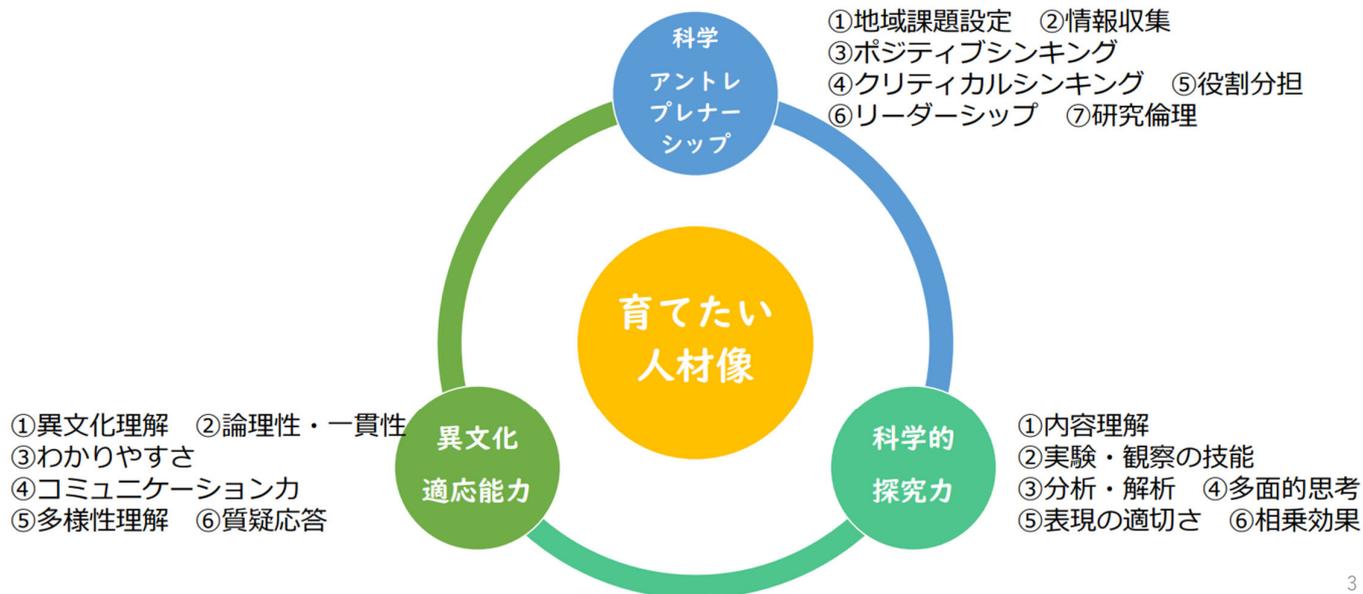
本事業のこれまでの取り組み「愛媛モデル」を礎として、**四国全域**に本モデルを波及

- ・ 全国に先駆けた地域密着型次世代人材育成「四国モデル」の構築
- ・ 産官学による地域に根をはり世界に挑む「グローバルフロンティアリーダー」の育成



育てたい資質・能力・人材像

地域に根をはりながら、世界に挑む、各領域の
「グローバルフロンティアリーダー」を育成する



多様な育成型・学習プログラム

高校生対象



研究者・技術者
育成型



アントレプレナー
育成型

・ 全ての高校生に理系分野の裾野を広げる
 → 取得した単位は愛媛大学入学後の卒業要件単位として認定

・ 一足先に大学の講義を受けて研究・起業活動を含む
 課題研究に取り組む

中学生対象



早期育成型

・ 探究心と才能を伸ばし、
 長期的に育成する

高校生対象

